

## 「板橋区中小企業診断士会研修旅行」に参加して

城北支会 朝倉 久男

[yfe16689@nifty.com](mailto:yfe16689@nifty.com)

去る9月6日(土)から7日(日)、城北支会板橋区中小企業診断士会の1泊研修旅行が行われた。板橋区中小企業診断士会では、「会員に幅広い知識を入手する研鑽の場を提供し、併せて会員間の親睦を高める」ことを目的に毎年研修旅行を行っている。

昨年は焼津市役所水産課を訪ねて水産業の現状把握と海洋深層水センターでの研修、今年、茨城県つくば市での「科学技術の最新動向」を学ぶ研修である。

今回の参加者は7名である。当日は危ぶまれた天候も何とか持ち、少人数ならではの和気藹々とした楽しい研修となった。



朝8時半、板橋区グリーンホール前から会員の一人が運転するワゴン車で、首都高速5号線、外環道を経由して常盤高速道をつくばに向う。午前中の見学先は「サイエンススクエアつくば」である。国が研究をしている様々な最先端技術が分かりやすく展示されている。私などは全くの技術音痴だが、こうした最先端技術の一端に触れるだけでも啓発される。

先端技術で頭がお勉強モードになったところで、丁度昼時となったので、つくば研究センター内の「Ange2006」で昼食をとる。

なつかし  
「昭和の洋食レストラン」と謳うだけあり、

研究員や先生方がアカデミックな空気の中でゆったりと食事を愉しむ、そんな雰囲気のある素敵なレストランであった。



午後は本日のハイライトである筑波宇宙センター(JAXA)の見学である。日本のH2ロケットの歴史や現在多国籍で展開する宇宙ステーションの製造過程等を案内ガイドの女性が丁寧に説明してくれる。

圧巻は月から見た地球の映像で、まるで自分が宇宙にいるような感じを体感でき、実に感激的であった。

宿舎は、筑波山の麓にあるつくば市立の施設「筑波ふれあいの里」だった。運良く、土曜日というのに殆ど貸切り状態である。翌朝は、宿舎の周りの雑木林に設けられた全長約2.5kmの遊歩道を散策する。途中知り合った地元の人の話では、この辺りは江戸時代には全国から集る男女の出会いの場だったとのことである。

最後の研修は、施設に併設されている「ふれあいの里体験実習館」でのそば打ち体験である。施設職員の手ほどきを受けながら、自分が作った蕎麦は不揃いながらも美味しいものである。先端科学にドブプリと漬かった有意義な研修旅行であった。